

主による正しいさばき

詩篇 140 篇

わたしは主が苦しむ者の訴えをたすけ、貧しい者のために正しいさばきを行われることを知っています。(12)

詩人は敵対する者たちによつてひどく苦しめられています。それは武力による攻撃ではなく、あざけり、中傷といった言葉による暴力でした。

詩人は主に向かつて助けを祈り求めます。その祈りは二つに分けられます。一つは「悪しき人々からわたしを助け出し」(1)という祈りです。主イエスご自身も、「主の祈り」の中でそのように祈るようにと教えられました(マタイ六13)。もう一つの祈りは、「乱暴な人をおみやかに災に追い捕えさせてください」(11)とあるように、悪しき者たちに災いが下るようにといい願いです。わたしたちがこれを読むと、いくら悪人であつても、災いが臨むように祈るのは信仰者らしくないと思うかもしれませんが、ただこれは、自分の欲望を満足させるための祈りではなく、神がこの地上に正しい裁きを行つてくださり、不義なる者たちが退けられることによつて義なる神のご支配が全ての人々の目に明らかになるようにという願いです。主が正しい裁きを行つてくださることが、神を信じる者たちにとつて救いとなるのです。わたしたちの時代にあつても、不義なる者たちが小さき者たちを苦しめるようなことが行われています。神はなぜ黙つておられるのだろうかという思いを持つことがあるでしょう。けれども主は必ず正しい裁きを行つてくださると信じて、祈ろうではありませんか。